

親子聖書日課

NO.1853 2024.3/31-4/6 名前

[日]エステルのおもひは、内面から出たものです。彼女は両親を失い、自分の望まない人生を歩みましたが、いじけることなく、明るく、やさしく育ちました。だからこそ、誰からも愛され、王の目に適いました。私達も主に従うなら、心は美しくなります。

[月]モルデカイはハマンに「ひざまずいて(拜む)敬礼しなかった」ことが、ユダヤ人撲滅命令という危機を招きました。しかし「神以外のものを神とせず」という生き方こそ、主の目に適い、試練から逃れる道が備えられるのです。彼に倣いましょう。

[火]同胞の身に起こる苦しみを知った時、エステルは「死ぬ覚悟」で、王の前に出る決心をしました。そして3日間断食し、主に祈りを捧げました。私達も滅びゆく魂の救いのために、このエステルの献身、命がけの信仰と祈りが求められています。

[水]エステルの信仰に王は応えました。死の使いである槍ではなく、命の使いである金の笏が差し出されました。主の答えは、最もよい時に、最もよい方法で与えられます。ですから、すぐに同胞の命乞いをせず、御霊の導きに委ねたのです。

[木]手に汗を握る逆転劇とは、この話です。主はモルデカイに栄誉を与えるために、ハマンのうぬぼれを用いました。うぬぼれる人は、他人に栄誉を与え、自らは屈辱を味わいます。モルデカイのように、人の誉れを求めず、へりくだって生きましょう。

[金]「何か望みがあるなら叶えてあげよう」との問いに、あなただったら何と答えますか。エステルは自分の幸せではなく、同胞の救いを求めました。主を信じない人は滅びに至りますから、救いのために切に祈りましょう。その祈りは聞かれます。

[土]エステルは同胞の滅びを黙って見ていることはできず、「涙を流し」て王に直訴しました。この熱き祈りが同胞を救いました。パウロも同胞の救いのために涙を流して祈りました。私達も日本人の救いのために、涙を流して絶えず祈りましょう。



	聖書	問題	答え
日	エステル記 2:1-23	姿も顔立ちも美しかったのは、誰ですか。	
月	3:1-15	モルデカイは何をせず、敬礼もしませんでしたか。	
火	4:1-17	このために死ななければならぬのでしたらどんな覚悟でしたか。	
水	5:1-14	王はエステルを見て、手にした何を差し伸べましたか。	
木	6:1-14	王が栄誉を与えることを望んだのは、誰でしたか。	
金	7:1-8:2	私の命と私の何をお助けくださいとエステルは王に求めましたか。	
土	8:3-17	エステルは同胞の何を見るに忍びませんでしたか。	
感想と祈りの課題			